

施策番号 2-2-2	施策名	スポーツしやすい環境づくり	基本目標	心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり	
			政策名	地域文化の形成とスポーツ環境の充実	
	主管課	生涯学習課	課長名	江崎 健一	内線 451
	施策関係課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果	
町民がいつでも気軽に自由にスポーツできる環境づくりを進めます。		町民	・いつでも気軽に自由にスポーツできるようにする					健康で明るいまちづくりを実現する	
成果指標	説明	単位	策定時(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標	
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	83.5 (R3)	79.8				95.0	
② 芽室町内の体育施設利用者数	利用実績	人/年	124,734 (R3)	165,505				180,000	
③ 高校生以下の初心者がゲートボールを体験できる機会	生涯学習課調べ(教室・講座数)	回/年	21 (R3)	30				64	
成果指標設定の考え方	①住民満足度として非常に高い評価を得る数値とするもの。 ②前期計画で達成できなかった数値を目標とするもの。 ③事業機会を30%UPで推進しようとするもの。								

2. 施策の事業費

	策定時決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費（千円）	272,237	2,112,308			

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2023年度の成果評価(基準年との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	コロナも5類に移行するとともに、R5.7には温水プール、トレーニングセンターの改築により、スポーツする環境が拡充されるなど、施設の充実を通し住民の運動機会の促進につながった。
②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	コロナ禍も終わり自粛傾向から解放され、特にトレーニング施設の利用者増が施設利用の実績を押し上げている。 『一流を見て・聴いて・学ぶ』事業として、陸上や元プロ野球選手の招致、コンサドーレ観戦などの新たな取組について好評を得ていることから、様々な競技の一流の招致に努める。 ゲートボールの普及については、本町が定める「挑戦の流儀」の達成に努めるとともに、R6年度発祥の地杯GB大会にブラジルGB連合から60人ほど来町するなど、国際的なつながりを含め、GBの普及を進めるものである。
(2) 施策の成果評価に対する第5期総合計画前期実施計画の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	トレーニング施設維持管理事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「一流を見て・聴いて・学ぶ」事業は、様々な競技を通して事業を実施するなど事業に対する一定の成果は得られているものと感じている。 ・社会体育施設については、R5年度にテニスコート、温水プール、トレーニングセンターの改築等施設整備を行い、住民のスポーツ環境の整備を行った。 ・町全体の施設整備や維持管理については、社会体育施設再整備構想に基づく計画的な実施に努める。 ・ゲートボールの再生については、特に若い世代への普及を重点的に進めるとともに、継続して取り組める環境の整備等について関係団体と引き続き連携・強化を進めていく。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)

担当課 評価	コロナの5類移行、施設整備を進める中で特にトレーニングセンターの利用者が顕著であり、施設利用増につながっている。 ゲートボール再生に向けた取り組みについては、芽室高校生の日本一の明るい話題や中学生の授業の取り入れ、社会人GB大会新設の取組等、競技者増に向け、進めているところである。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した
D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	・「一流を見て・聴いて・学ぶ」事業における新たな可能性の創出(コンサドーレとの連携(バドミントン、カーリング)、コンサドーレと提携する他道内プロスポーツ団体(レバンガ北海道、ヴォレアス北海道)との連携。 ・日本ハムファイターズとの連携事業 ・社会体育施設再整備構想に基づく計画的な施設整備と適切な運営、維持管理の実施。 ・ゲートボール競技の普及「挑戦の流儀」の検証。R7更新に向けた関係機関との連携。 ・R6発祥の地大会におけるブラジルGB連合等の招致。 ・中学校部活動の地域移行への対応策検討。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	・社会体育施設周辺の環境整備(駐車場、トイレ、支障木)。 ・健康プラザの整備(人工芝の張替、屋上防水(雨漏り修繕)等) ・町営野球場の整備(コンクリート部分のラバー化、レフト側フェンスのかさ上げ) ・ゲートボール普及事業の強化、継続。 ・各種プロスポーツ団体と連携した事業の実施。 ・社会体育施設における適正な利用料金の設定。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たにに取り組むべき課題)

・「一流を見て・聴いて・学ぶ」事業の推進 →コンサドーレとの包括連携協定に基づく事業の推進(サッカー教室、観戦ツアー、アスリート栄養指導等) →コンサドーレ関連団体との連携(バドミントン・カーリング、レバンガ北海道、ヴォレアス北海道等) ・社会体育施設再整備構想における計画的な施設整備。 →施設機能の維持に要する計画的修繕 ・GB再生計画「挑戦の流儀」(R3～R6)の検証とR7の更新に向けた取組。 ・少年団活動や部活の地域移行における指導者確保、総合型地域スポーツクラブの調査研究 →部活動の地域移行に関する取組 →地域人材の発掘・確保。

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に「前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	プール・トレーニングルーム等が評価されていることから、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	・「一流を見て・聴いて・学ぶ」事業の継続 ・部活動の地域移行に関して、時間が限られていて子どもたちのウォーミングアップが十分にできないことがないよう、安全を最優先にしてほしい。	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					